

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 21 週（5 月 20 日～5 月 26 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2 人 類型 患者 1 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 1 人、不明 1 人
四類感染症 E 型肝炎	2 人 推定感染地域 国内 2 人
A 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
レジオネラ症	2 人 病型 肺炎型 2 人
五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 人 血清群 A 群 3 人、B 群 1 人
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 AIDS
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人
侵襲性髄膜炎菌感染症	1 人 推定感染地域 国内
梅毒	8 人 病型 早期顕症Ⅰ期 4 人、 早期顕症Ⅱ期 2 人、 無症状病原体保有者 2 人
百日咳	2 人 年齢階級 30 歳代 1 人、 60 歳代 1 人

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

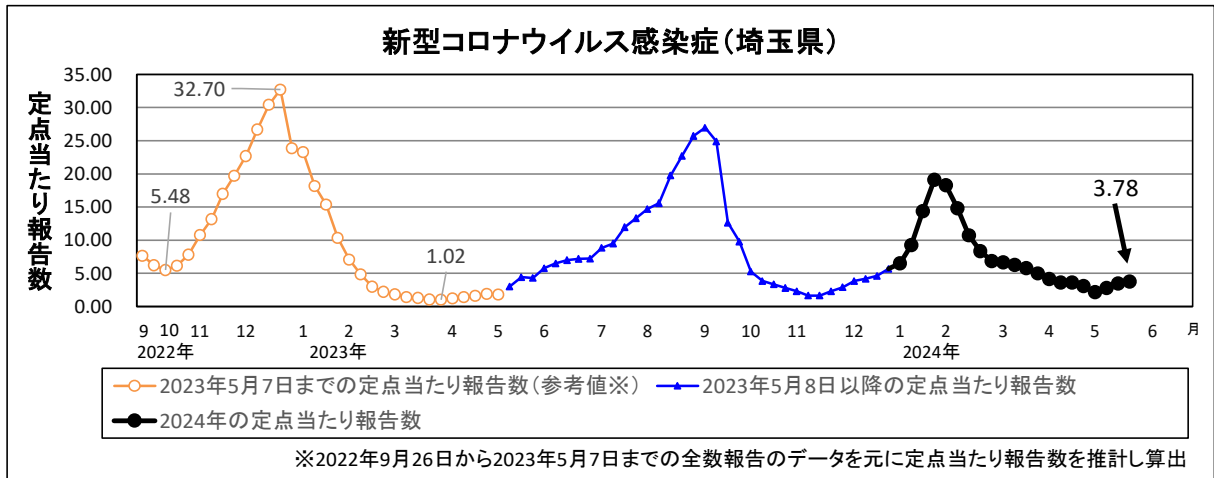
新型コロナウイルス感染症(3.46→3.78:図1)の定点当たり報告数は、前週と比較しわずかに増加した。保健所別では、坂戸(6.80)、幸手(5.93)、鴻巣(5.58)、狭山(5.36)、越谷市(5.23)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は35人(前週34人)であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(5.52→5.35:図2-1,2)の定点当たり報告数は、前週と同水準で、2023年の秋以降、高い水準で増減を繰り返している。保健所別では、春日部(16.17)、南部(12.00)、幸手(8.78)保健所管内からの報告が多い。RSウイルス感染症(1.32→1.32:図3)の定点当たり報告数は、同水準で推移しており、依然として多い状況にある。保健所別では、南部(5.60)保健所管内からの報告が最も多く、幸手(2.89)、狭山(2.56)、春日部(2.17)保健所管内からの報告も多い。手足口病(0.52→1.09:図4)の定点当たり報告数は、前週と比較し増加した。保健所別では、幸手(2.33)、熊谷(2.25)保健所管内からの報告が多く、県内17保健所管内中13保健所管内で前週を上回った。咽頭結膜熱(0.70→0.96:図5)の定点当たり報告数は、第19週以降緩やかな増加傾向にある。保健所別では、春日部(2.17)、幸手(2.11)、秩父(2.00)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎15人、流行性角結膜炎39人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎1人、インフルエンザ(入院)1人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第21週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

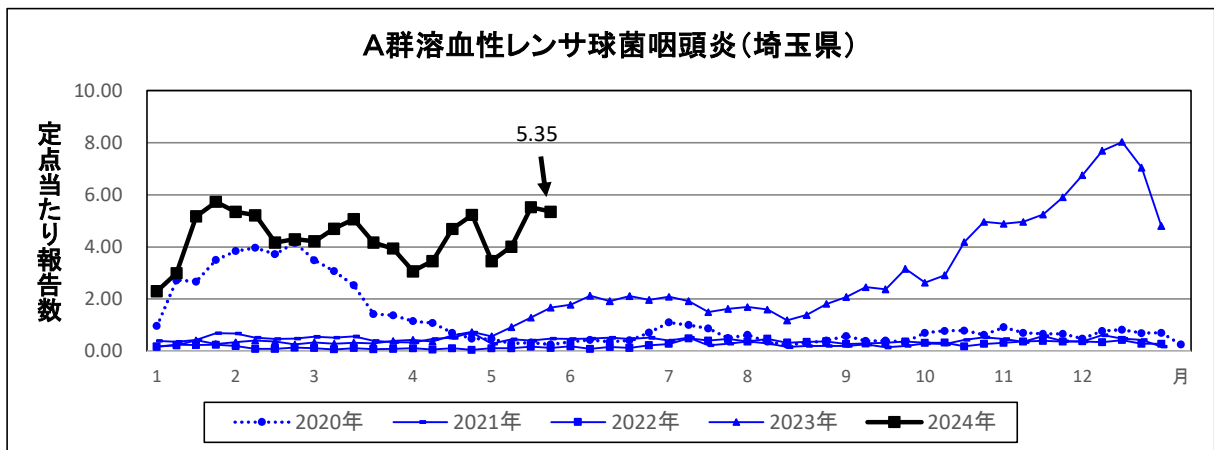


図2-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移(2024年第19週～第21週)

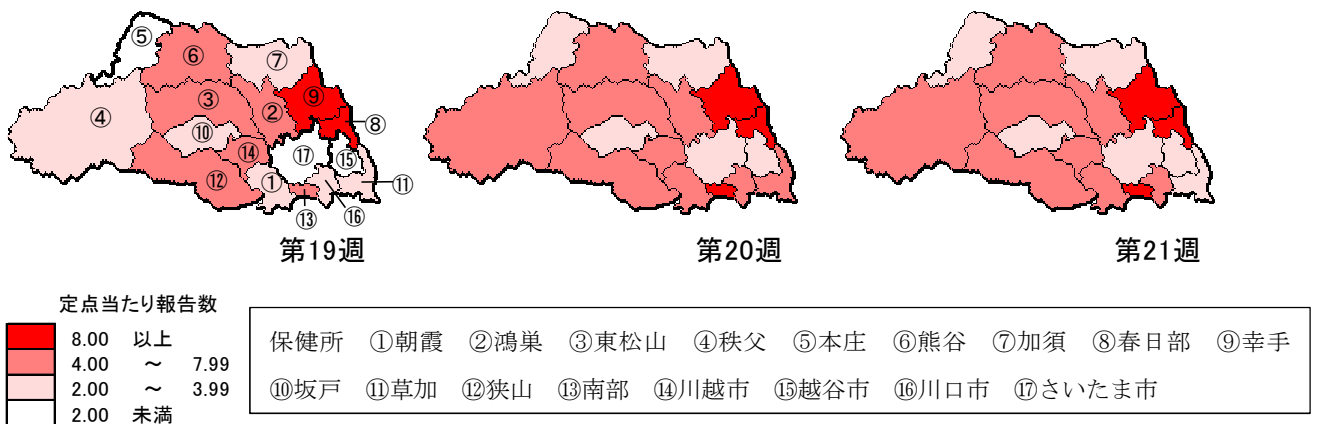


図3 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

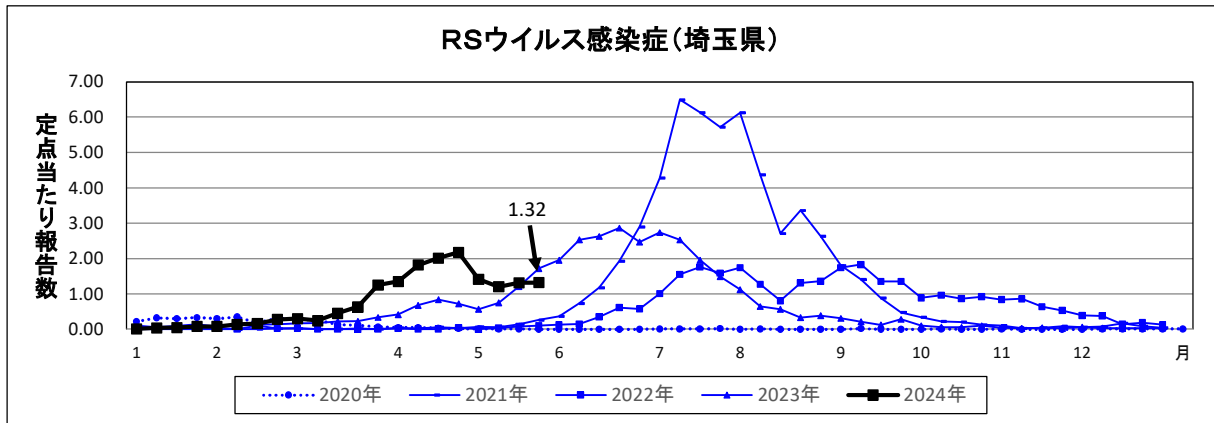


図4 手足口病の定点当たり報告数の推移

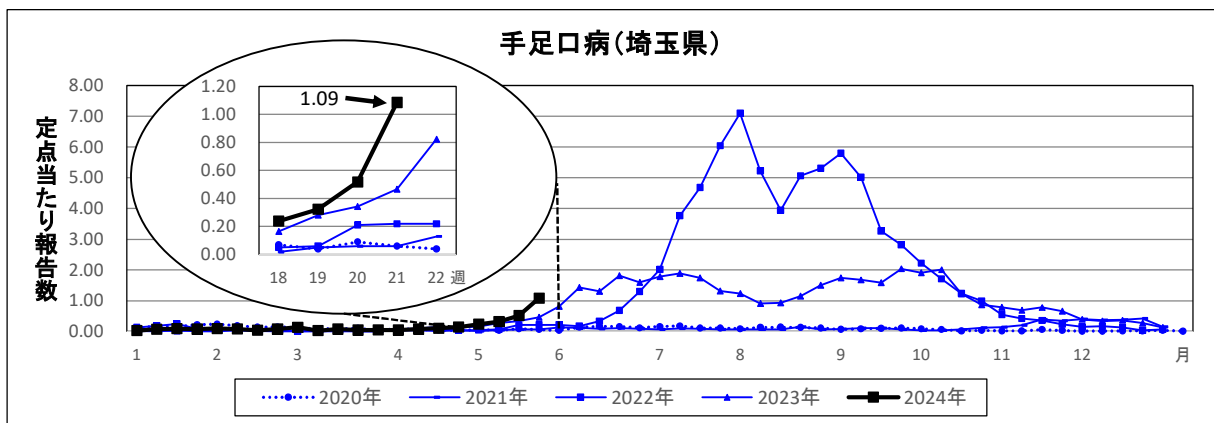
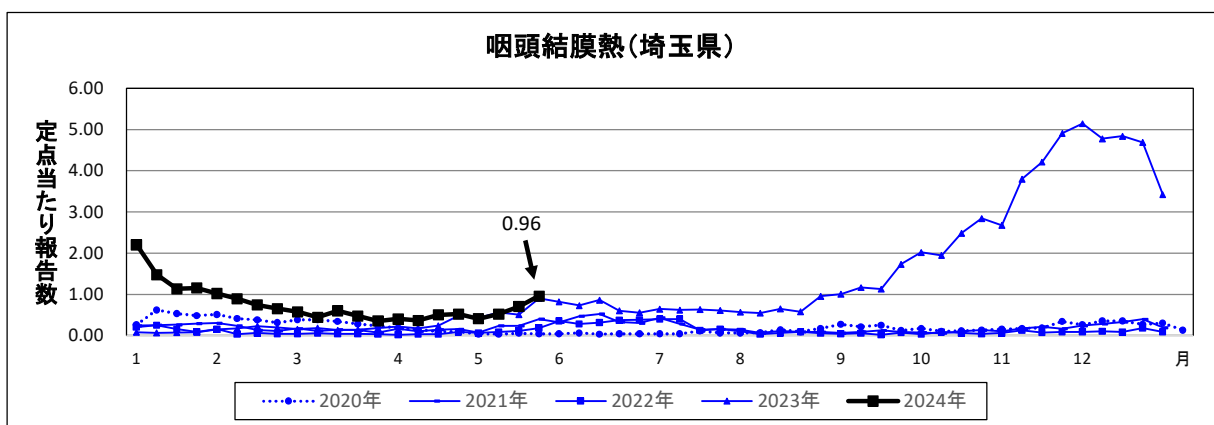


図5 咽頭結膜熱の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第21週)

(2024年5月28日 16:30集計)

	今週届出	累計		今週届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	46			
四類感染症					
E型肝炎	2	17	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	1	4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	35
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		3	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		11	侵襲性肺炎球菌感染症		40
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		29	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	8	168
急性脳炎		10	播種性クリプトコックス症		5
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	63	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	14	百日咳	2	18
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	8	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第21週

5月20日~5月26日)

保 健 所	報告数 #1	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 52	987	217	157	878	871	40	178	14	60	34	23	15	39	-	-	1	-	-	1	35	
	定点あたり 0.20	3.78	1.32	0.96	5.35	5.31	0.24	1.09	0.09	0.37	0.21	0.14	0.36	0.93	-	-	0.08	-	-	0.08	2.92	
朝 霞	報告数 1	97	17	8	65	106	2	19	-	9	3	3	-	8	-	-	1	-	-	-	7	
	定点あたり 0.04	4.22	1.13	0.53	4.33	7.07	0.13	1.27	-	0.60	0.20	0.20	-	2.00	-	-	1.00	-	-	-	7.00	
鴻 巣	報告数 2	106	5	16	72	55	2	21	-	1	2	1	2	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点あたり 0.11	5.58	0.42	1.33	6.00	4.58	0.17	1.75	-	0.08	0.17	0.08	0.67	-	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 10	11	1	8	22	36	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	定点あたり 1.25	1.38	0.20	1.60	4.40	7.20	-	0.40	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
秩 父	報告数 1	15	3	6	12	3	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1	
	定点あたり 0.20	3.00	1.00	2.00	4.00	1.00	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00	
本 庄	報告数 -	17	4	-	8	-	6	7	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	定点あたり -	2.43	1.00	-	2.00	-	1.50	1.75	0.25	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	
熊 谷	報告数 10	39	5	4	48	38	-	18	1	5	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	
	定点あたり 0.77	3.00	0.63	0.50	6.00	4.75	-	2.25	0.13	0.63	0.13	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	2.00	
加 須	報告数 1	28	1	4	20	3	2	4	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	3	
	定点あたり 0.10	2.80	0.17	0.67	3.33	0.50	0.33	0.67	-	0.50	-	0.17	-	2.00	-	-	-	-	-	-	3.00	
春 日 部	報告数 1	31	13	13	97	57	1	6	-	1	-	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点あたり 0.10	3.10	2.17	2.17	16.17	9.50	0.17	1.00	-	0.17	-	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 -	83	26	19	79	27	6	21	-	1	2	3	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点あたり -	5.93	2.89	2.11	8.78	3.00	0.67	2.33	-	0.11	0.22	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 1	68	6	2	22	42	-	6	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
	定点あたり 0.10	6.80	1.00	0.33	3.67	7.00	-	1.00	-	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	6.00	
草 加	報告数 3	85	12	4	47	45	2	5	2	6	3	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点あたり 0.16	4.47	1.00	0.33	3.92	3.75	0.17	0.42	0.17	0.50	0.25	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 -	134	41	16	105	52	3	11	-	6	2	-	12	1	-	-	-	-	-	-	1	
	定点あたり -	5.36	2.56	1.00	6.56	3.25	0.19	0.69	-	0.38	0.13	-	2.40	0.20	-	-	-	-	-	-	1.00	
南 部	報告数 1	29	28	6	60	46	2	4	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	定点あたり 0.13	3.63	5.60	1.20	12.00	9.20	0.40	0.80	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00	
川 越 市	報告数 1	27	4	3	37	27	4	-	-	1	2	-	-	5	*	*	*	*	*	*	*	
	定点あたり 0.07	1.93	0.50	0.38	4.63	3.38	0.50	-	-	0.13	0.25	-	-	2.50	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 3	68	4	6	20	31	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	定点あたり 0.23	5.23	0.50	0.75	2.50	3.88	-	0.25	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
川 口 市	報告数 9	58	11	12	74	126	7	22	7	7	9	7	-	13	-	-	-	-	-	-	3	
	定点あたり 0.45	2.90	0.85	0.92	5.69	9.69	0.54	1.69	0.54	0.54	0.69	0.54	-	3.25	-	-	-	-	-	-	3.00	
さいたま市	報告数 8	91	36	30	90	177	3	30	3	9	6	3	1	8	-	-	-	-	-	-	3	
	定点あたり 0.19	2.12	1.29	1.07	3.21	6.32	0.11	1.07	0.11	0.32	0.21	0.11	0.11	0.89	-	-	-	-	-	-	1.00	3.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第21週 5月20日～5月26日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	52	-	3	4	2	2	4	1	2	2	1	4	12	4	2	2	4	1	1	1	-
新型コロナウイルス感染症	987	11	15	18	10	5	5	6	2	9	3	8	55	100	105	96	136	149	96	90	68
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	217	28	41	64	35	30	14	4	-	-	-	-	-	-	1						
咽頭結膜熱	157	-	18	45	18	21	17	17	3	5	2	1	5	1	4						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	878	1	7	44	46	72	87	116	101	100	71	58	119	8	48						
感染性胃腸炎	871	5	57	103	64	88	83	76	81	63	58	48	92	9	44						
水痘	40	-	2	1	1	3	1	6	8	5	4	4	5	-	-						
手足口病	178	2	17	78	27	10	14	11	5	5	2	1	5	-	1						
伝染性紅斑	14	-	-	1	1	2	1	2	2	1	2	1	1	-	-						
突発性発しん	60	-	16	34	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	34	-	3	12	5	1	5	6	-	-	-	-	1	-	1						
流行性耳下腺炎	23	-	-	-	-	2	3	9	2	2	3	-	2	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	15	1	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	1	-	4	1	1	1	2	
流行性角結膜炎	39	-	-	-	1	-	-	3	-	3	1	-	-	1	5	11	5	8	-	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-				
新型コロナウイルス感染症(入院)	35	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第19週 (5月6日～5月12日)

令和6年5月29日

<全国情報>

インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第12週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.66)、茨城県(1.07)、山形県(1.02)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は31例と前週と比較して減少した。都道府県別では20都道府県から報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～9歳(11例)、10代(1例)、30代(1例)、50代(2例)、60代(3例)、70代(5例)、80歳以上(7例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(12.04)、鹿児島県(4.60)、岩手県(4.51)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,149例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(36例)、1～9歳(32例)、10代(10例)、20代(19例)、30代(17例)、40代(34例)、50代(71例)、60代(118例)、70代(259例)、80歳以上(553例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山口県(3.77)、奈良県(3.35)、和歌山県(2.90)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.43)、新潟県(1.76)、北海道(1.74)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(8.54)、鳥取県(7.95)、北海道(5.96)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(8.19)、富山県(7.07)、兵庫県(5.93)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(6.72)、愛媛県(5.22)、福井県(4.96)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.18)、東京都(0.18)、富山県(0.11)、石川県(0.07)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(1.68)、大分県(0.75)、沖縄県(0.57)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は大分県(0.11)、埼玉県(0.10)である。

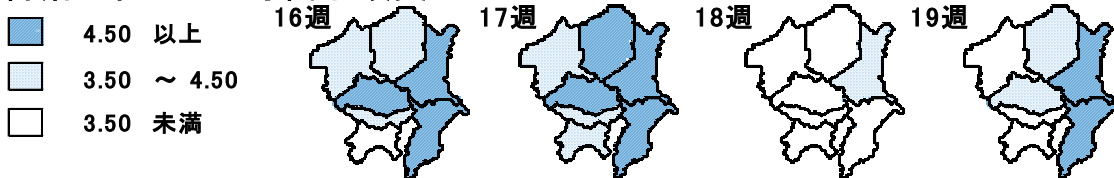
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.71)、大阪府(0.78)、佐賀県(0.67)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。4都道府県から6例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(2例)、5～9歳(3例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年第19週(5月6日～5月12日): 通巻第26巻 第19号 より

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、茨城県(4.81)、千葉県(4.58)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



2024年 19週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	1,692	418	128	25	12	60	46	82	65
	定点当たり	0.34	0.27	1.07	0.33	0.14	0.23	0.23	0.20	0.18
新型コロナウイルス感染症	報告数	13,652	3,923	325	191	192	735	646	955	879
	定点当たり	2.76	2.57	2.71	2.51	2.26	2.82	3.20	2.28	2.40
RSウイルス感染症	報告数	3,832	961	47	52	34	197	122	286	223
	定点当たり	1.22	1.00	0.63	1.08	0.64	1.20	0.98	1.08	0.97
咽頭結膜熱	報告数	2,136	418	39	18	49	85	60	93	74
	定点当たり	0.68	0.44	0.52	0.38	0.92	0.52	0.48	0.35	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	11,114	3,255	361	176	177	658	573	748	562
	定点当たり	3.54	3.39	4.81	3.67	3.34	4.01	4.58	2.83	2.43
感染性胃腸炎	報告数	11,408	3,266	178	82	232	710	450	1,012	602
	定点当たり	3.64	3.40	2.37	1.71	4.38	4.33	3.60	3.83	2.61
水痘	報告数	722	311	10	2	8	86	57	68	80
	定点当たり	0.23	0.32	0.13	0.04	0.15	0.52	0.46	0.26	0.35
手足口病	報告数	2,809	421	20	26	158	53	37	70	57
	定点当たり	0.90	0.44	0.27	0.54	2.98	0.32	0.30	0.27	0.25
伝染性紅斑	報告数	108	73	2	2	2	4	3	48	12
	定点当たり	0.03	0.08	0.03	0.04	0.04	0.02	0.02	0.18	0.05
突発性発しん	報告数	979	288	21	15	22	42	37	84	67
	定点当たり	0.31	0.30	0.28	0.31	0.42	0.26	0.30	0.32	0.29
ヘルパンギーナ	報告数	355	49	4	1	26	2	6	5	5
	定点当たり	0.11	0.05	0.05	0.02	0.49	0.01	0.05	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	152	69	2	3	2	16	7	20	19
	定点当たり	0.05	0.07	0.03	0.06	0.04	0.10	0.06	0.08	0.08
急性出血性結膜炎	報告数	22	14	-	-	-	5	-	9	-
	定点当たり	0.03	0.07	-	-	-	0.12	-	0.23	-
流行性角結膜炎	報告数	518	259	48	12	6	37	28	17	111
	定点当たり	0.75	1.25	2.82	1.00	0.43	0.90	0.82	0.44	2.18
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	2	-	-	-	-	2	-	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	-	0.22	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	8	2	1	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.02	0.08	-	-	-	-	-	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	89	16	6	1	-	3	2	4	-
	定点当たり	0.19	0.18	0.46	0.14	-	0.25	0.22	0.16	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	2	-	1	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.02	-	0.14	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	6	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

埼玉県の腸管出血性大腸菌検出状況(2023 年)

埼玉県で 2023 年に分離され、衛生研究所で確認した腸管出血性大腸菌は 148 株でした。分離された 148 株の血清型・毒素型別を表に示しました。血清型では 24 血清型が検出され、最も多く検出された血清型は O157:H7 で 94 株 (63.5%) でした。次いで O26:H11 が 11 株 (7.4%)、O111:H- 及び O103:H2 が 7 株 (4.7%) と続きました。

毒素型については、O157:H7 は VT1&2 産生株が 52 株、VT2 単独産生株が 42 株、O26:H11 については VT1 単独産生株が 9 株でした。なお、2022 年に続き、O26:H11 では発生が稀な VT2 単独産生株が 2 株みられました。

分離された 148 株の内訳は、患者由来が 93 株 (62.8%)、無症状病原体保有者由来が 55 株 (37.2%) でした。無症状病原体保有者から検出されたものはいずれも患者発生に伴う家族検便や給食従事者等に対する定期検便によるものでした。無症状病原体保有者からの検出率を血清型別にみると、最も多く検出された O157:H7 は 29.8% (28 株/94 株) でした。また、O26:H11 は 36.4% (4 株/11 株) でした。

表 腸管出血性大腸菌の血清型・毒素型別検出数 (2023 年)

血清型	毒素型			計
	VT1	VT2	VT1&2	
O157:H7	—	42	52	94
O157:H—	—	1	5	6
O26:H11	9	2	—	11
O26:H—	1	—	—	1
O111:H—	5	—	2	7
O43:H2	—	2	—	2
O91:H—	1	—	1	2
O103:H2	6	—	1	7
O121:H19	—	2	—	2
O128:H2	1	—	1	2
その他	4	10	—	14
	27	59	62	148

2023 年は県内で起きた飲食店による O157:H7、VT1&2 の食中毒事例に関連し、感染者が 7 名発生しました。当該飲食店は半生状態のひき肉料理を客が自ら焼成して喫食する形態で、中心部まで十分な加熱が行われなかったことが原因と考えられました。食肉のようなハイリスク食品は、特に十分な加熱を行って喫食することを改めて注意喚起していかなくてはなりません。また、集団感染事例になりやすい傾向のある幼児施設や老人福祉施設による事例はありませんでしたが、引き続き感染防止策の徹底が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症の多発する時期を控え、情報収集や解析を行い、感染拡大防止へ向けタイムリーな情報提供に努めて参ります。

感染症発生動向調査
2024年

- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)

感染症の流行状況 2024年 第21週

2024年第21週（5月20日～5月26日）の要点

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)の定点当たり報告数は、前週と同水準で、2023年の秋以降、高い水準で増減を繰り返しています。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↑	★★	ヘルパンギーナ	↑	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	↑	★★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	↓	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン